

# 水素ガス吸引システムが、なぜ 最強な「免疫力」向上システム!? 体の細胞は4ヶ月で入れ替わる

人間の体は、40兆個とも言われる膨大な数の細胞によって形作られています。  
(細胞は体を作り上げている基本的な部品のようなものです)

40兆個の細胞たちは、それぞれ大切な役割を担っています。役割によって約270種類の細胞に分かれています。

血球 筋肉細胞 皮膚細胞 神経細胞 線維細胞 骨細胞

細胞を動かすエンジンの役割を果たすのが、細胞内にある「ミトコンドリア」です。生きるためのエネルギーを作り出している器官です。

私たちが生きているのは「ミトコンドリア」が元気にエネルギーを生み出しているからです。

免疫は、病原体から体を守る大切な機能ですが、加齢とともに衰え「免疫老化」が進んでしまいます。

ヒトの体の細胞は4年でほとんど新しいものと入れ替わります。  
皮膚が4週間、血液が4ヶ月、一番長いのは骨の細胞で4年で全てが入れ替わります。(徐々に老化した細胞が順番に入れ替わります)

毎日の「水素ガス吸引生活」で、  
「活性化した細胞」に入れ替わります!  
「免疫力」が上がる仕組みです!  
「水素ガス吸引システム」だけのスゴ技です!

※ 体細胞でも例外的に入れ替えをしない組織もあります。それは、心筋と神経細胞です。心臓を動かす心筋細胞は生まれてから太く大きくなることはあっても数が増えることはできません。

脳や脊髄を中枢として全身に信号を送る神経細胞が入れ替わったら、記憶が維持できなくなり、おおごとになります。心臓と脳は生涯ずっと変わらないのです。